



## 日程 1

- ・ 委嘱状の交付  
大塩市長より委員11名に対して委嘱状が手渡された。

## 日程 2

- ・ 正副会長の選任  
会長に石元清英氏が、副会長に矢野 端氏が選任された。

## 日程 3

- ・ 会議の公開・非公開について  
この審議会については、「会議公開に係る基本方針」に基づき、原則公開しようとするもの（プライバシー等にかかる審議などは非公開）で、事務局より「会議公開制度運用要綱」と「会議公開に係る傍聴要領」を説明された。  
この2つの要綱・要領について全会一致で承認された。

## 日程 4

- ・ 諮問について  
水田副市長より石元会長に審議会に対して諮問書が読み上げられ手渡された。  
諮問内容：平成17年12月策定の「川西市人権行政推進プラン」の見直しと総合センターの運営に関する意見  
事務局より「人権行政推進プラン」の概要を説明した。

## 日程 5

- ・ 審議  
会長指示により事務局からプランの具体的な見直し課題について説明。
  - プラン作成以後の法律等の追加変更などの人権を取り巻く社会情勢の変化から生ずる新しい人権課題の模索
  - 具体的な人権課題の見直しを受けて人権教育人権啓発の重点項目・視点のチェック
  - 人権協の今後の課題として従前からの補助金運営でなく委託契約での運営はどうか。校区の人権推進啓発委員会では後継者問題や出席率の低下などの問題もあるが、地域の人権教育人権啓発においては大きな役割を持っている。
  - 総合センターは名称変更を過去に提言されているが、現在までそのままとなっていることについても審議願う。

矢野委員より事務局から説明のあった人権協の現状と課題の追加説明があった。

- ・ 各委員から次のような意見があった。
  - ・ プランの中に行政施策はあるが、市民の評価としてはないので、そういった視点も必要ではないか。
  - ・ 障害者や女性など人権を含めた問題となることが多いが、市にはそれぞれ障害者問題協議会や男女共同参画推進プランなどを担当する部署があるが、どこから検討していけばいいのか。
  - ・ 限られた回数では見直しができるのか。
  - ・ 何をどこまで見直すのか、予算の問題もあるだろうし、提示いただければ検討もできる。

- ・事務局から次のような説明があった。
  - ・限られた審議回数、各セクションの施策や予算措置などの問題はあるだろうが、人権議論は幅広いので、あくまで見直しについては、人権教育人権啓発を中心とした人権行政推進プランのあるべき姿を議論していただく。
  - ・人権に関する市民意識調査といったことも今後の予算等によっては実施もできるかもしれないので、それによっては市民意識や意向で評価も可能。
- ・結論として
  - ・事務局で見直しのたたき台を作成して次回に議論する。
  - ・各委員において見直しに関する意見があれば、7月末日までに事務局へ提出する。
  
- ・次回は8月末か9月初めごろ